

学校運営協議会議事録

校名	府立豊島高等学校
校長名	宮地 宏明

開催日時	令和6年11月11日(月) 10:30 ~ 12:30
開催場所	府立豊島高等学校 校長室
出席者(委員)	白木原会長、野村副会長、東前委員、大石委員、辻下委員
出席者(学校)	宮地校長、坂口教頭、森事務長、池尾首席、小林教諭
傍聴者	なし
協議資料	なし
備考	

議題等(次第順)	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 校長挨拶 (2) 会長挨拶 (3) 授業見学 (4) 授業見学について協議 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>(4) 授業見学について協議 (全般的感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に授業に取り組んでいた。特に保健は「マイライフプラン」として生徒が自分の生活を振り返りながら、これから健康な人生をおくるためのプランを作る授業で、生徒のプランのなかには家族への感謝があったり、健康への意識を深める内容となっていたりしていたことがよかった。 ・数学では統計における「正規分布」の単元の内容を、身近なもの(食パンやあんパン)を使うことで生徒の興味を引き出す工夫がされていた。古典では生徒との対話を通じて良い関係が築かれており、生徒の活発な発言がみられた。教員が説明する際、生徒にとって身近な言葉や話題を用いることで、難解な内容を理解しやすくしていた。 ・授業のテンポや効率の良さが目立った、プロジェクターやタブレットの活用によって板書時間を削減し、授業内容を深めていた。 ・デジタル機器を活用する授業スタイルに驚いた。授業の展開スピードが非常に早く、理解が追いつかない生徒が出る可能性を懸念した。英語の少人数制クラスでの授業は生徒とALT等の教員との対話が活発で、学習効果が高いと評価したが、授業展開が速いためタイピングやスペルの習得が不十分になることを懸念している。 ・今回の英語の授業はコミュニケーションを目的としたものであり、スペルの習得等については、別の授業で行う。 ・授業における教師の工夫が多く見られ、生徒が生き生きと授業に参加している様子が印象的だった。特に英語の授業でのゲーム形式や保健体育のライフプラン作成が生徒に将来を考えさせる良い機会になっている。自身の学生時代と比較して生徒の主体性がより重視される授業スタイルが素晴らしい。 <p>(ICT活用に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドをスクリーンに投影し、教壇を離れてリモコンでどんどんスライドを展開していく授業スタイルが、生徒との距離感を縮めるのに有効であった。古典では教員が教室内を移動しながら指導しており、他の授業でも是非取り入れてほしい。全生徒がタブレットをきちんと持参することで、授業がスムーズに進行している点も評価する。 ・タブレットを活用する授業では、ゲームやクイズ形式が生徒の関心を引き出している。しかし、キーボードでの入力が不要な授業スタイルでは、英語のスペル習得や記憶の定着が弱くなる可能性があるため、紙媒体などの併用が必要。 ・ICTの活用が進む中で、教師が生徒の顔を見ながら指導することで、生徒の表情や反応を観察し、柔軟な対応ができています。タブレットを用いた振り返りや自己評価の取り組みが、生徒の主体性を育む一助となっている。 <p>(働き方改革と授業準備に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業準備が大変であることを理解しつつ、ICTの活用によって総体として教員の負担軽減が進んでいると思う。評価方法が変わる中で、教員が新しい評価方法を踏まえた授業改善を進めていることを高く評価する。 ・プロジェクターや自動採点ソフトの活用により、授業進行や採点の効率化が図られていることを評価する。ただし、ICTの利便さだけでなく、従来の板書や紙の重要性も忘れないでほしい。 ・ICTを活用することで生徒と教員の双方向のやりとりが活発になっていることを評価する。授業中に教員の表情が見えることで、生徒が質問しやすい環境が整っている。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートやタブレットを用いた生徒による自己評価の実施が生徒の主体的な学びにつながっている。英語の授業でのゴールとして英検取得を掲げていたが、生徒の意欲向上に役立つ。 ・自動採点やタブレットを活用した授業の効率化の進展が生徒の主体的な学びに大きく貢献している。教員の授業準備にかかる負担の重さについては留意する必要がある。 	
次回の会議日程	
日時	未定
会場	府立豊島高等学校 校長室(予定)